

自然環境整備計画の目標の達成状況等の評価

都道府県名		島根県		個別地域名		比婆道後帝釈国定公園、西中国山地国定公園、中国自然歩道		評価年度	27 年度		
事業実施期間		平成 21 年度～平成 25 年度		事業費		425,420 千円		(うち国費 191,439 千円)			
事業の実施内容		<p>①西中国山地国定公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥・表・裏匹見峡線道路(歩道)再整備事業【危険箇所対策】『益田市・市営』 ・中国自然歩道(裏匹見)災害復旧事業【災害復旧工事】『益田市・県営』 <p>②長距離自然歩道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ整備事業【トイレ修繕】『出雲市・市営』 ・鬼の舌震周遊モデルコース歩道再整備事業【棧橋修繕・橋再塗装等】【奥出雲町・県営』 ・やなしお道公衆トイレ整備事業【トイレ新設】『美郷町・県営』 ・標識再整備事業【標識再整備】『県内一円・県営』 ・双川峡モデルコース歩道再整備事業【危険箇所対策】『益田市・市営』 ・立久恵峡モデルコース歩道再整備事業【危険箇所対策】『出雲市・市営』 ・千丈溪モデルコース歩道再整備事業【橋再塗装等】『邑南町・県営』 									
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況	・本事業の整備効果により施設の安全性・利便性が向上したことや、他事業「観光客誘致活動等」の波及効果によって、中国自然歩道利用者の増加が図れた。									
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価		
						基準年度	目標年度	達成年度			
			1. 三井野原地区利用者数	人/年	該当地域の利用者数	6,000	6,300	—	事業実施団体の財政状況悪化等により予定事業の実施が困難となった。これにより目標の達成が困難となった。		
						平成19年度	平成25年度	—			
		2. 匹見峡地区危険箇所数	箇所	歩道沿いの危険箇所数	32	0	0	現地における危険箇所安全対策工事は完了した。匹見峡利用者数は、基準年度と比較し特段の増減は無い。			
				平成20年度	平成25年度	平成25年度					
3. 改善必要公衆便所箇所数	箇所	中国自然歩道にある老朽便所箇所数	4	0	0	予定箇所の改善を行うことが出来た(1箇所は他事業)。中国自然歩道の利用者への利便性向上が図れた。					
			平成20年度	平成25年度	平成23年度						
4. 中国自然歩道利用者数	千人/年	自然歩道の利用者数	489	489	552	自然歩道の安全施設等整備等を行ったことにより、年間利用者の増加している。					
			平成19年度	平成25年度	平成26年度						
整備に伴う取り組みの実施状況		各施設の安全性向上対策等を重点的に取り組んでいるが、関係自治体の財政状況悪化により整備が行き届いていない状況である。									
今後の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・関係自治体及び施設管理者との施設改修要望等の情報を共有化し、施設利用者の安全性・利便性向上に向けた整備を検討する。 ・早急な安全対策が必要な箇所及び施設の長寿命化を図ることを目的とした事業を中心として整備に取り組む。 									